



## 新たな日常のもとで

さる9月30日をもって、緊急事態宣言が解除されました。

ひとえに市民・事業者の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

徐々に日常を取り戻す中、10月9日、平方地区で親子農業体験教室の「稲刈り」が行われました。

この日参加した市内在住の16家族が6月に植えた小さな苗は、農業後継者育成確保推進対策協議会のご協力のもと、黄金色のたわわに実った稲穂に成長し、無事収穫期を迎えました。

この間、協議会の今川先生は、参加者が稲の成長を楽しめるようにと、水田の周りに「ひまわり」を植えてくださるとともに、丁寧に管理してくださいました。

初めのうちは恐る恐る鎌を握っていた子どもたちは、先生の指導のもと、時間が経つにつれ上達すると、最後には刈り取った稲穂を両手いっぱい抱え、収穫の喜びと笑顔であふれていました。

参加されたお子さんから「市長さんって稲刈りもできるのですか」と聞かれたので、「私が子どもの頃は、日常でした」と答えると、目を丸くしていました。

刈り取った稲穂は、精米されて参加者に配布される予定です。自ら育てたお米は、より一層おいしく感じると思います。

この日は、「テイクアウトフェア」と「芸術協会の定期公演」にも伺いましたが、いずれも衛生管理に細心の注意を払いながら、開催されていました。

街には、新たな日常のもと、市民の皆様の触れ合いと笑顔が欠かせません。

皆様の笑顔がいつまでも続くよう市政運営に当たってまいります。



稲刈りの様子

市長 畠山 稔